

板橋区観光振興ビジョン 2035

《素案》





はじめに

区长挨拶が入ります。

令和 年 月 板橋区长 坂本 健

【基本理念】

ひと まち みどりがつなぐ、 暮らす・訪れる・魅せる“いたばし”

板橋区は、都市化が進む東京23区にありながら、宿場町として栄えた街道文化の歴史と個性的な店舗や活気ある商店街、銭湯やお祭りといった「ひと」や「まち」をつなぐ生活文化が根つき、河川や公園などの豊かな「みどり」も残されていることから、世代を超えて住み続けられるまちとして多くの人々に親しまれています。

板橋区の観光は、地域に根ざした生活文化を活用し、「行きたくなる」場の創出や、そこにいるだけでわくわくするような「楽しくなる」体験の提供を通じて、地域とのつながりや暮らしやすさを実感できる「住みたくなる」意識の醸成を目指すものです。

こうした生活文化の体験をライフスタイルツーリズムとして推進することで、区内外に板橋を「魅せる」発信を行い、「訪れる」人々に区民が自慢したくなるまちとしての価値を高めるとともに、板橋区で「暮らす」ことに魅力を感じる人を増やしていきます。

【本ビジョン策定の背景】

魅力的な地域資源の育成・活用

従来の歴史・伝統文化に加え、食や商店街など地域に根差した生活文化の価値と魅力を再認識することが必要となっています。

これらの魅力的な地域資源を育成・活用し、にぎわいや交流を創出する取組が求められています。

消費行動・価値観・ライフスタイルの多様化

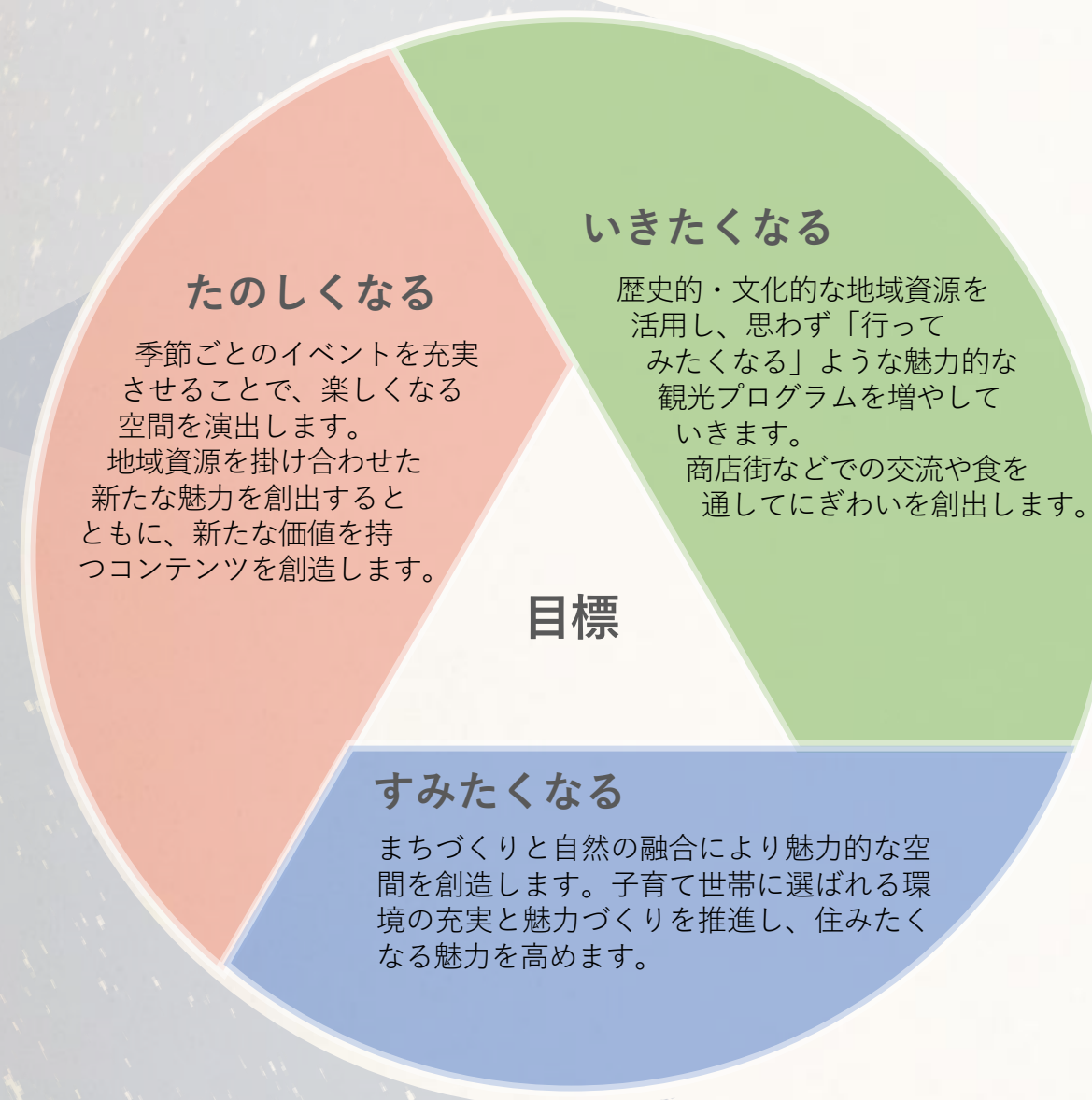
近年、体験や参加を楽しむ活動的なニーズが高まるなど消費行動や人々の価値観、ライフスタイルが多様化しています。

これらの幅広い要望に応えるために、地域資源の掛け合わせなどで新しい魅力の創造や文化・芸術などに触れる機会を提供することが求められています。

地域コミュニティ希薄化に対する環境づくり

核家族化の進行や都市化、デジタル技術の普及により、地域コミュニティの希薄化が社会問題となっています。

人とまちのつながりを深める交流や居場所づくりを通じて、誰もが安心して暮らせる環境づくりが重要となります。



いきたくなる

2035年目指す姿

日々の暮らしの中で歴史や文化を体験することのできる、板橋ならではの観光スタイルが定着しています。

また、個性的な食や活気ある商店街など生活文化の魅力が区民や来訪者に届き、にぎわいに満ちています。



志村一里塚



ボランティアガイドによる散策ツアー

歴史的・文化的資源を活かした魅力的な観光プログラムの創出

江戸四宿の一つである板橋宿や旧加賀藩前田家の下屋敷を有していた歴史を活かし、いたばし観光センターを拠点に徒歩で楽しめる観光プログラムの創出に取り組みます。

また、多数の神社・仏閣、郷土資料館などの歴史・文化的資源や国指定無形文化財である田遊び、獅子舞、里神楽などの伝統文化を組み合わせ、回遊性を活かした魅力ある観光プログラムを展開します。



国指定無形文化財「田遊び」

食・商店街を通じたにぎわいづくり

古くから地域住民に愛されてきた、情緒あふれる店舗、商店街を舞台に、板橋のいっぴんを活用した食べ歩きや銭湯での交流など、来訪者をもてなし、楽しませる、にぎわいの創出に取り組みます。

また、多様な情報媒体を活用して、歴史的な背景や個人の思いなどを整理した「板橋ストーリー」の発信を行います。



食・商店街



銭湯



こども動物園

暮らしの身近にある施設の来訪・回遊促進

23区内初の区立美術館として開館し、BELCA賞受賞実績のある板橋区立美術館、50万冊余を蔵書し、いたばしボローニャ絵本館やカフェを併設した公園一体型の中央図書館、東南アジアの熱帯雨林を再現し、楽しみながら学べる博物館型植物館である熱帯環境植物館、動物とふれあえる体験型プログラムが充実したこども動物園など、板橋区内に数多くある地域資源を活用し、来訪を促進します。

また、スタンプラリー等を実施し、それらの地域資源間での回遊を推進します。



熱帯環境植物館



中央図書館・いたばしボローニャ絵本館

たのしくなる

2035年目指す姿

「いたばし花火大会」「区民まつり」など、皆が楽しむことのできるイベントが充実しています。

また、地域資源の掛け合わせによる新たなコンテンツが構築され、多くの人で活気に満ちています。



区民まつり

季節に合わせた魅せるイベントの実施

いたばし花火大会・板橋区民まつり・板橋農業まつり・板橋Cityマラソンの板橋4大イベントや各地区のまつり、石神井川さくらライトアップなど季節に合わせた魅せるイベントを推進します。



花火大会



板橋Cityマラソン



音楽フェス

地域資源の掛け合わせによる新たな魅力の創出

河川公園×音楽イベント、街中華×まち歩き、絵本のまち×ボローニャ食イベントなど地域で複数の取り組みを掛け合わせることで、地域経済の活性化と歴史／文化／自然の保全を両立させ、来訪者に楽しんでもらう新たな魅力を創出します。

新たな価値の創造

荒川河川敷における「かわまちづくり事業」、近代化・産業遺産「史跡陸軍板橋火薬製造所跡」を保存活用した「板橋区史跡公園・産業ミュージアム（仮称）」など新たな価値を創造する事業を推進します。



石神井川の桜のライトアップ



すみたくなる

2035年目指す姿

豊かな自然を感じながら、交流ができるまちづくりが展開され、様々な属性の方が中長期的に滞在できる環境が整っています。
また、板橋の子育て環境がさらに充実し、住み続けたいと選ばれるまちとなっています。



高島平の自慢となるにぎわいあふれる緑地

まちづくりを活かした 新たな魅力エリアの創造

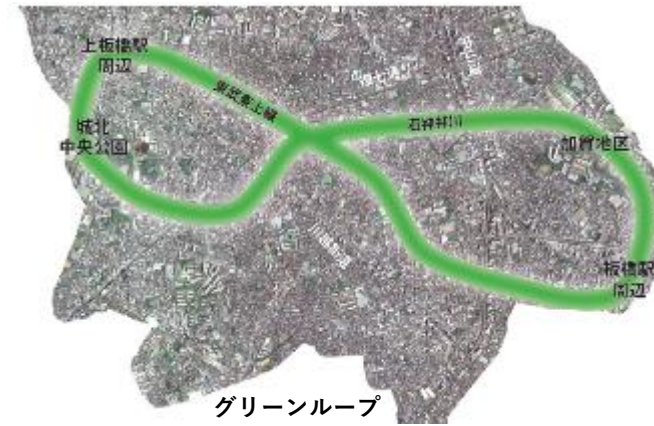
板橋駅西口、上板橋駅南口、高島平駅周辺で行われているまちづくりと連携し、交流・参加・体験できる新たな魅力エリアの創造を推進します。



上板橋南口広場



高島平緑地



荒川戸田橋緑地



高島平プロムナード

自然資源の保全と活用

区民の憩いの場となっている「水辺」「公園」「緑地」を交流空間として活用し、板橋区の自然の魅力をさらに高めます。

子育て世帯に選ばれる魅力 づくりの推進

絵本のまちや赤ちゃんの駅発祥の地としての板橋区の特徴を活かしつつ、CAPSなどの施設の魅力をさらに向上させ、子育て世帯に選ばれる仕組みを構築します。



あいキッズ



赤ちゃんの駅

